

## 第42週(10月17日～10月23日)の集計結果

### コメント

#### 【今週の傾向】

○RSウイルス感染症は、定点あたり3.3人で、先週(定点あたり3.4人)と比べほぼ横ばいですが、都の報告数を上回っています。

○感染性胃腸炎は、定点あたり6.9人で、先週(定点あたり7.4人)からやや減少しています。

○流行性耳下腺炎は、定点あたり2.4人で、先週(定点あたり2.0人)に比べほぼ横ばいですが、前年度と比べると高い状態が続いています。

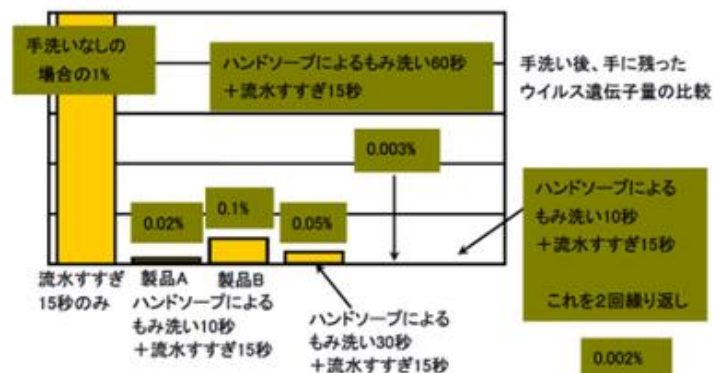
○マイコプラズマ肺炎は、定点あたり2.3人で、先週(定点あたり1.4人)に比べて増加しています。乳幼児が約半分を占めています。

いずれの疾患も、感染の予防、まん延の防止のために、咳エチケット及び手洗い、排泄物・吐物の適切な取り扱い(消毒)等を引き続き確認しましょう。

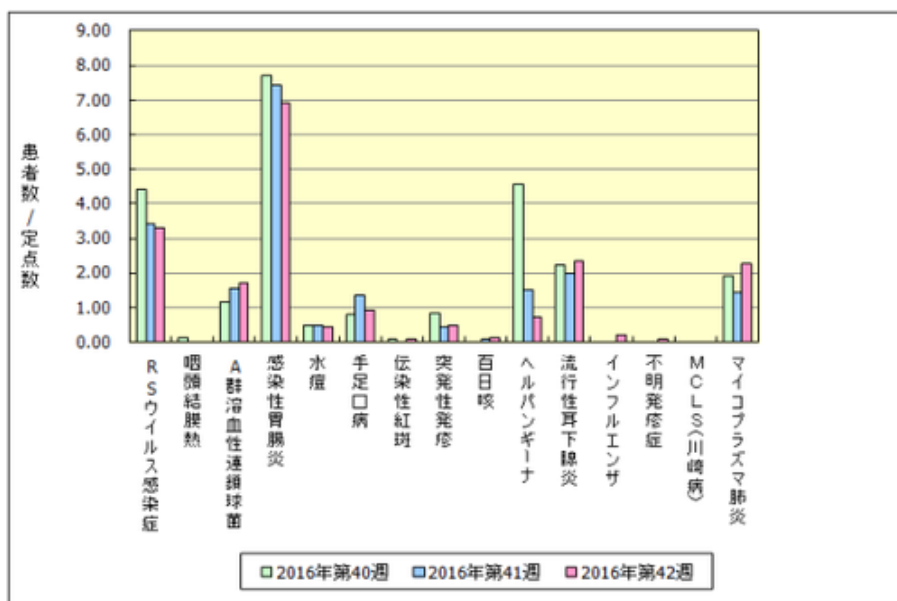
○効果的な手洗いの方法  
「石鹸を十分泡立てた後すすぐ」を2回繰り返すと効果的です。

「石鹸を十

### 手洗いの効果



出典元：東京都健康安全研究センター 「ノロウイルス対策緊急タスクフォース」



第42週疾患毎発生状況グラフ

	2016年 第37週	2016年 第38週	2016年 第39週	2016年 第40週	2016年 第41週	2016年 第42週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	35 ↑	47 ↑	51 ↑	62 ↑	48 ↓	46 ↓	425
咽頭結膜熱	2 →	2 →	0 ↓	2 ↑	0 ↓	0 →	327
A群溶血性連鎖球菌	25 ↑	17 ↓	18 ↑	16 ↓	22 ↑	24 ↑	1416
感染性胃腸炎	131 ↑	97 ↓	103 ↑	108 ↑	104 ↓	97 ↓	5393
水痘	3 ↑	1 ↓	1 →	7 ↑	7 →	6 ↓	249
手足口病	17 ↑	21 ↑	29 ↑	11 ↓	19 ↑	13 ↓	289
伝染性紅斑	1 ↑	5 ↑	1 ↓	1 →	0 ↓	1 ↑	141
突発性発疹	7 ↓	6 ↓	5 ↓	12 ↑	6 ↓	7 ↑	305
百日咳	1 ↑	1 →	0 ↓	0 →	1 ↑	2 ↑	38
ヘルパンギーナ	42 ↓	33 ↓	45 ↑	64 ↑	21 ↓	10 ↓	1034
流行性耳下腺炎	23 ↑	27 ↑	27 →	31 ↑	28 ↓	33 ↑	906
インフルエンザ	2 ↑	6 ↑	0 ↓	0 →	0 →	3 ↑	6941
不明発疹症	1 ↓	1 →	1 →	0 ↓	0 →	1 ↑	71
MCLS(川崎病)	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	4
マイコプラズマ肺炎	21 ↑	16 ↓	25 ↑	27 ↑	20 ↓	32 ↑	562

第42週疾患毎発生状況表

第42週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	MCLS(川崎病)	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	8	0	0	5	1	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0
1歳	25	0	2	10	0	6	0	2	0	5	3	1	0	0	2
2歳	4	0	1	14	0	4	1	1	0	2	5	0	1	0	2
3歳	1	0	3	7	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1
4歳	0	0	2	13	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	3
5歳	0	0	5	6	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	8
6歳	0	0	5	6	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	2
7歳	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
8歳	0	0	3	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	2
9歳	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
10～14歳	0	0	1	16	1	0	0	0	0	0	7	1	0	0	10
10～12歳												0			
13～14歳												1			
15～19歳	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
20歳以上	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	46	0	24	97	6	13	1	7	2	10	33	3	1	0	32

第42週年齢別発生状況表